

羽曳野市の雨水対策

～大雨に備えて～

羽曳野市の公共下水道は、分流式により生活等で汚れた水をきれいにする汚水事業と、雨水を排除する雨水事業があります。市の浸水対策として、東部地区では、昭和 61 年より碓井ポンプ場を供用開始し、大雨時に古市周辺の雨水を石川へ強制排除しています。

西部地区では、高鷲周辺の大規模な水路改修工事を藤井寺市と共同で進めています。また、都市計画道路の八尾富田林線の事業化にあわせて、大阪府等と共同で雨水幹線の整備も進めています。

しかしながら、地球温暖化に伴う気候変動により、雨の降り方が著しく変化して、これまでの大雨では雨水の排除ができていたのに、道路冠水や水路からの浸水という事象が発生しています。市民の皆さまにも、雨水ますのごみ掃除や家庭でできる取り組みなど、浸水被害に備えていただくようご協力をお願いします。



《問合せ》 羽曳野市下水道部 下水道総務課


みんなで防ごう土砂災害～6月は土砂災害防止月間です～

～土砂災害について～

全国では毎年約 1,100 件もの土砂災害が発生しています。令和 3 年には、42 の都道府県で 972 件の土砂災害が発生しました。特に、8 月には 33 都府県で 448 件の土砂災害が発生し、直近 10 年(平成 23～令和 2)の同月における平均発生件数(177 件)を大きく上回りました。

気候変動による集中豪雨の多発化により、土砂災害の激甚化、頻発化が今後ますます懸念されます。さらに自然災害での死者・行方不明者のうち約半数は土砂災害が原因です。

今年もまた、土砂災害の起こりやすい長雨の季節となりました。土砂災害に対する備えや、避難場所などをこの機会に再確認しましょう。

| 土石流 | がけ崩れ | 地すべり |
|--|--|--|
|  <p>急な渓谷を、水を含んだ大量の土砂・礫が津波のように流れ下るもので、「山津波」とも呼ばれています。流れの先端部に大きな礫があることが多く、その流れの速さは時速 20～40 km という速度で一瞬のうちに人家や田畑を壊滅させてしまいます。</p> |  <p>雨で地面にしみこんだ水分が土の抵抗力を弱め、斜面が急に崩れ落ちることです。また、崩れ落ちる速度も速く、地震が原因で起こることもあり、人家の近くで起こると、死者の出る悲惨な災害となります。</p> |  <p>粘土質など、すべりやすい土質を境目に、その上部の地面が動き出してゆっくりすべり落ちることです。がけ崩れに似ていますが、傾斜のゆるい斜面でも発生し、ゆっくりと継続的にすべることもあります。また、発生規模も広範囲にわたります。</p> |

～災害に備えた日頃の準備～

1. 日頃から天気予報や注意報に関心を持ちましょう
2. 避難場所、避難経路を確認しましょう。
3. 緊急時に必要な用品を準備しておきましょう。

～防災情報を手軽に

あなたのもとへ～

QRコードを読み取り、空メールを送信してください。登録用 URL が返信されますのでそちらよりご登録ください。



《問合せ》 大阪府都市整備部 河川室河川環境課砂防グループ (☎ 06-6944-9302 内線 2956)
羽曳野市下水道部 下水道建設課